



社協だより

平成30年8月23日
No.77



平成30年度 元気づくり プログラム研修事業



川合会場



湯里会場



大田会場



市内各地域でふれあい・いきいきサロンなどの介護予防活動が活発に取り組みされており、地域のみなさんが心も体も元気に過ごしていただけのようなプログラムを学んでいただく機会として、毎年この研修会を開催しています。今年度は温泉津町の山根澄子さ

んを講師に迎え、身近な物を使って楽器を作り、リズムにのった振り付けでうたう楽しい時間の過ごし方をご指導いただきました。歌をうたうことは脳の活性化やリラクゼーション、コミュニケーション力などの効果をもたらすことから、レクリエーションのプログラムとして全国的に取り入れられているそうです。参加者からは「こんなふうに歌ったのははじめて」「体も動かしながら歌うと楽しい」などの感想をいただきました。

ぜひそれぞれの団体での活動に取り入れて、サロンの輪が益々広がることを願っています。



講師 山根澄子さん

平成
29年度

社会福祉法人 大田市社会福祉協議会 事業報告

〔概要〕

本会では、平成29年度を初年度とした「第2次地域福祉活動計画」に基づき、基本理念である「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の実現に向けて、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会など福祉活動を行う関係各種団体等と協力し、市との連携を緊密に図りながら、事業を推進してまいりました。

地域における福祉課題の解決に向けて「生活サポートセンターおおだ」を設け、生活に関する困りごとの相談に対応し、複合的な課題を抱えた世帯等の支援も行ってまいりました。

また、ボランティア活動をされている方や興味のある方同士の交流やネットワークづくりを目的とした「縁力フェおおだ」を開催し、市内のボランティアグループが集う機会を設け、活発な意見交換が行われました。

生活支援体制整備事業では、今年度新たに7地区に協議会等が設立され、高齢者の「通いの場」が設けられることで、高齢者の介護予防の推進に併せて、地域における新たなボランティアの誕生につながっています。

地域福祉力アップ推進事業では、

福祉委員と民生児童委員が連携して地域ニーズの把握や情報の収集・共有を行い、支援が必要な人々の早期発見に向けた、地域での仕組みづくりに取り組みました。次に、地区社会福祉協議会会長会議を開催し、各地域における様々な課題等についてそれぞれが取り組まれている活動について、情報交換や意見交換を行い、他地区の様子が分かり参考になったと喜ばれました。

さらに、社会福祉法の改正により、社会福祉法人の責務とされた「公益的な取組」に向けて、市内の社会福祉法人が協力し合う仕組み作りなどについて話し合いができるよう「大田市社会福祉法人公益活動連絡会(仮称)」の開設に向けた準備会を立ち上げました。

このような活動をはじめ、地域における福祉活動の支援体制づくり、社会資源の活用や住民参加による協議の場を設けるとともに、地区社会福祉協議会をはじめ民生児童委員協議会並びにボランティア団体等の関係機関・団体のご理解とご協力をいただきながら事業を推進し第2次大田市地域福祉活動計画に掲げた目標を概ね達成することができました。

〔実施事業〕

推進目標1

住民参加による地域福祉活動の推進

1. 地区社協を中心とした住民主体の地域づくりの推進

- ① 地区社協連絡会の開催(2回)
- ② 地区社協活動支援事業への助成
- ③ 27地区社協へ助成を行った。
- ④ 地域ふれあい交流事業への助成
- ⑤ 指定地区 24地区社協

- ・内容 高齢者・地域住民等との交流事業、幼児・児童との交流事業、地域の伝統・文化活動等による交流事業等
- ④ 地域研修事業
- (1) 福祉委員活動に関する研修会
- ：13地区社協
- (2) 住民相互の支えあいのしくみづくりに関する研修会：10地区社協
- (3) 住民のニーズに基づいた地域づくりの研修会：4地区社協
- ・研修参加者 延べ638名

- ⑤ 地域福祉力アップ推進事業
- ・実施地区 12地区社協
- ⑥ 地区社協現況調査の実施

- 2. 住民自主組織の活動支援
- ① ふれあい・いきいきサロンづくりの推進
- ・指定サロン数 4サロン
- ・平成29年度未現在のサロン総数 134サロン
- ② ふれあい・いきいきサロン研修会
- ・参加者 114名
- ③ 大田市介護予防活動市民大会「サロン大交流会」
- ・参加者 334名

- ④ 地域介護予防活動支援事業
- ふれあいいきいきサロン・介護予防活動団体交流会
- ・参加者 121名
- 元気づくりプログラム研修事業
- ・温泉津会場、久手会場、大田会場、仁摩会場、大森会場
- ・参加者 163名
- 介護予防活動実施申請団体
- 27地区 164団体

- ⑤ 子育て支援団体連絡会の開催
- ・参加団体 サロン団体、サークル団体、行政・関係機関等
- ⑥ レクリエーション用具等貸出し事業
- ・学校及び地域に対して福祉体験学習用品(疑似体験等)貸出し：2件
- ・軽スポーツ、レクリエーション用具貸出し：178件
- ・機材等貸出し：55件(機材、ポップコーン機、綿菓子機)
- ⑦ 生活支援体制整備事業
- 市内各地区への訪問及び相談対応実績
- ：延べ214回
- (1) 各地区での協議会設立に関する研修会及び協議会主催の会議等への参加
- ・訪問地区数：19地区
- ・延べ参加回数：83回
- (2) 各地区での協議会設立に関する打合せ等
- ・訪問地区数：20地区
- ・訪問延べ回数：131回
- ・協議会の設置状況
- (平成30年3月末日現在) 12地区
- 生活支援コーディネーター情報交換会の開催
- ・開催日 毎月1回(年間12回開催)
- ・参加者 66名

- 3. 住民相互の助け合い意識の啓発とつながりづくり
- ① 地域福祉研修会の開催
- ・参加者 66名
- ② 高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携
- ③ 新たな福祉課題に対応する活動の企画・検討

- 4. 地域福祉活動への住民及び施設・団体等の参加促進
- ① 障がい者スポーツ振興事業の実施
- ② 視覚障がい者の集い
- ③ 障がい者との体験ツアー
- ④ バスハイキング事業
- ⑤ 障がい者週間啓発事業の開催
- (人権週間啓発事業との共催)
- ⑥ 健康生きがいづくりフェスティバル開催
- ⑦ 社会福祉法人地域公益活動研修会

- ⑧老人福祉センター管理運営事業
 - 大田老人福祉センター
 - ・利用団体総数 756団体
 - ・利用者総数 24,273名
 - 仁摩老人福祉センター(びしゃもん)
 - ・市内利用者数 3,082名
 - ・市外利用者数 22名
 - 5. 共同募金運動への協力
 - 大田市共同募金委員会事務局受託
 - 各地区社協・福祉事業実施団体・当事者組織等への事業助成
- 推進目標2 在宅生活の自立を支える活動の推進**
1. 関係機関との連携による相談体制の充実
- 大田市福祉総合相談事業
 - 一般相談 801件
 - 専門相談(司法書士相談) 7件
 - 石見法律相談センター相談会
 - ◇面談相談 72件
 - ◇パソコン法律相談 9件
 - 関西大学法科大学院出張法律相談 10件
2. 包括的支援の充実
- ①生活困窮者に対する支援(生活サポートセンター)おのだの取組み)
 - ・新規相談者数 33名
 - ・相談件数 611件
 - ②資金貸付事業
 - 生活福祉資金貸付
 - ・相談件数 315件
 - ・平成29年度貸付決定数・金額 7件 4,373,000円
 - 民生融資金貸付(生活資金・緊急現金)
 - ・貸付実績 23件 345,000円
 - フードバンク事業(寄付食料品備蓄による困窮者への食料支援)
 - ・食料寄付件数 50件
 - ・食料支援件数 124件
3. 個別課題に基づく地域づくり
- このころのたより発送事業
 - ・対象者 1,965名
 - 重度身体障がい者移動支援事業の実施
 - ・年間利用者数 171名
 - ・移動支援 リフト車による市立病院(リハビリ)への通院買い物等の支援

- 学生服等再活用事業
 - ・寄付者及び寄付物 19名から62件の提供数 1世帯
 - 4. 当事者団体などへの支援
 - 大田市民生児童委員協議会事務局受託
 - 大田市身体障がい者福祉協会事務局受託
 - 大田市障がい者関係団体連絡協議会事務局受託
 - 大田市老人クラブ連合会活動支援
 - 福祉バス運行事業
 - ・利用団体数 51団体
 - ・利用回数 163回
- 推進目標3 ボランティア活動の推進**
1. ボランティア人材の養成とスキルアップ
- ボランティア交流事業
 - ・参加者 65名
 - 奉仕員養成事業(手話・点訳・音訳)
 - ◇手話奉仕員養成講座(後期日程)
 - ・受講者 17名
 - ◇点訳奉仕員養成講座
 - ・受講者 1名
 - ◇広報音訳ボランティアフォローアップ講座
 - ・受講者 19名
 - ◇手話奉仕員フォローアップ研修
 - ・受講者 6名
 - 地域福祉活動サポーター養成事業(聞こえのサポーター、ガイドヘルプ、重度障がい者移動支援事業運動ボランティア)
 - ◇聞こえのサポーター養成講座
 - ・受講者 19名
 - ・内容 聴覚障がいについての基礎知識、当事者の体験談、筆談と要約筆記について、筆談体験、ボランティア活動について
 - ◇移動介助ボランティア養成講座
 - ・受講者 20名
 - ・内容 身体障がい(視覚障がい、肢体不自由)についての基礎知識、移動介助に必要な知識及び技術の習得について

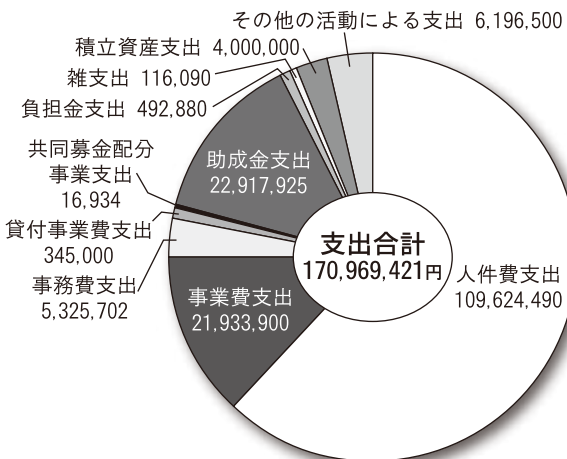
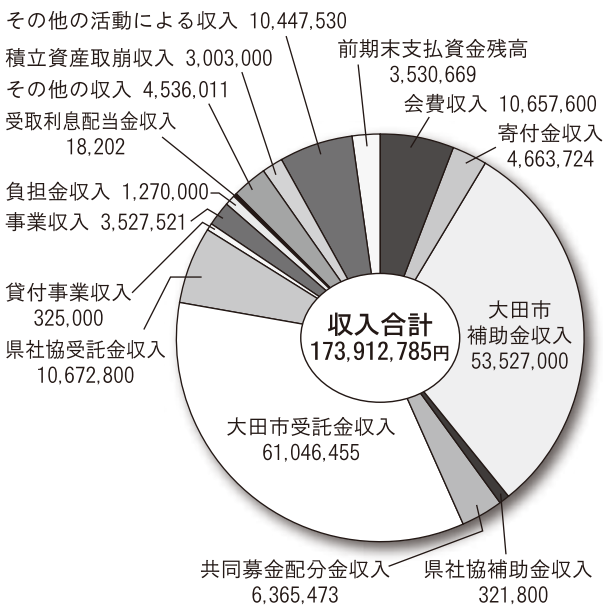
- ボランティア講座受講者への情報提供と活動支援
- ボランティア・市民活動センターの運営
 - ◇ボランティア依頼調整
 - ・団体及び施設行事へのボランティア依頼10件(活動者延べ101名)
 - ・食育活動ボランティア依頼:120件
- 2. ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化
 - 緩和ケア啓発事業への助成・支援
 - ◇石見銀山がん哲学外来カフェの開催
 - ◇石見銀山がん哲学外来ミニカフェの開催
 - 研修会への参加
 - ボランティア保険加入手続き事務
 - ・ボランティア保険 2,073名(事故対応 2件)
 - ・送迎保険 24件(事故対応 0件)
 - ・ボランティア行事用保険 568件(事故対応 0件)
 - ・福祉サービス総合保障 15件(事故対応 0件)
 - 収集ボランティア活動の推進
 - ◇使用済み切手:30件
 - ◇ペットボトルのキャップ:39件
 - ◇企業・団体が行うボランティア活動との連携
 - ◇大田市建築組合による住宅修繕ボランティア活動
 - ・場所 長久町(2件)
 - ・内容 住宅修繕(雨どいの清掃・修繕、網戸の取付等)
 - ◇民間助成事業(愛のともしび募金等)
 - ◇民間助成ニュース速報(月2回)を関係機関へ周知
 - ◇申請希望団体への申請に係る支援
 - ◇申請時の相談、助言及び団体推薦書等の作成:3件
 - ◇山陰中央新報社会福祉事業団「愛のともしび募金」助成事業申請事務
 - ・大田市から9団体が採択

- 3. 災害時に備えた地域住民及び関係機関とのネットワーク体制の強化
 - 災害救援ボランティア活動の推進
 - ◇災害ボランティアセンター運営者・運営支援者養成講座への参加
 - しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣
 - ◇福祉専門職登録者数 :4名(社会福祉士)
 - 島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定に基づく被災者支援活動
 - 災害訓練等への協力
 - 災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備
 - 日本赤十字社島根県支部大田市地区事務局受託
- 推進目標4 福祉の心・人材の育成**
1. 住民主体の地域福祉活動推進に向けた意識啓発と担い手の育成
- ふくしの学び合い推進事業(県社協モデル指定事業)
 - (1)障がいと高齢者への理解及び体験学習(小・中・高校生)
 - ・内容 グループワーク、当事者のお話、点字体験、疑似体験学習など
 - ・実施校 小学校4校、中学校2校、高等学校2校
 - (2)サマーボランティア活動(中・高校生)
 - ・内容 施設でのボランティア体験活動
 - ・実践校 大田西中学校、瀬摩高等学校の生徒:27名
 - 2. ライフステージに応じた福祉教育の推進
 - 地域・学校及び企業等へ向けた福祉教育の推進
 - あいサポート運動の推進
 - ・受講者数:405名
 - 3. 福祉に関する情報提供及び啓発の推進
 - 福祉器具貸出
 - ・車イスの貸出し
 - ・高齢者や障がい者、また怪我治療の方に無料貸出し
 - ・37件(貸出し述べ台数47台)

- 点字・声の広報の発行
 ○点字広報の発行
 ○発行回数 毎月1回(12回)
 ・配布数 2部(1回あたり)
 (2)音訳広報の発行
 ○広報おだ 年12回(月1回)
 市議会だより
 年4回(5月、7月、10月、1月)
 社協だより
 年6回(4月、6月、8月、10月、12月、2月)
 身障の友大田
 年3回(6月、11月、3月)
 健康診断、不燃物収集の年間予定表
 年1回
 ・送付者数 16名(1回当たり)
- 推進目標5 権利擁護の推進**
1. 権利擁護体制の充実
 ①福祉サービス利用援助事業
 ○日常生活自立支援事業(県社協委託事業)
 ◇支援計画作成
 ◇サービス内容
 (福祉サービス利用援助、定期的金銭管理、書類等の預かり、見守り等)
 ◇関係機関との連絡調整
 (1)利用件数 102件
 新規利用件数21件 終了件数13件
 (2)相談件数 3,066件
 (3)生活支援員研修会(2回)
 (生活支援員:登録者40名)
 ②法人後見事業(法人による成年後見制度への取り組み)
 ○法人後見運営委員会 開催回数2回
 (受任の適否審議)可2件
 ○出雲成年後見センターへの参加
 毎月1回
 ○法人後見の受任
 ◇受任件数 2名
 新規受任件数2件
 終了件数3件
 ③大田市成年後見支援センター事業
 ○大田市成年後見支援センター運営委員会(2回)

資金収支決算

期間：平成29年4月1日
 ～平成30年3月31日まで
 (単位：円)



当期末支払資金残高 2,943,364円

2. 啓発活動の推進
 ○成年後見制度周知講演会
 ◇参加人数 89名
 ○市民後見人養成講座
 ◇参加人数 15名 修了者14名
 バンク登録希望者12名
 ○市民後見人の推薦
 ◇推薦7名 内選任4名
 累計市民後見人14名
 ○大田市成年後見支援センター相談ケース 19件
 ○出雲成年後見センターとの連携及び定例会への参加 事例検討会参加 12回
 ○「成年後見意識啓発セミナー」講演会参加
 ○成年後見制度・私のあしんノート出前講座 6ヶ所 参加者185名
 ○市民後見人材バンク交流会開催
 ○市民後見人の養成研修及び啓発講演会の開催

3. 福祉事務所をはじめとする関係機関・団体との連携
 ○大田市地域医療支援対策協議会への参加
 ○大田市障がい者自立支援協議会への参加
 ○大田圏域自死予防対策連絡会への参加
- 推進目標6 組織体制の強化**
1. 広報活動の充実
 ○社協だより発行(偶数月・年6回)
 ○ホームページによる情報提供
 ○ケーブルテレビなどの広報媒体を活用した事業等の周知
2. 事業推進体制の強化
 ○理事会の開催(4回)
 ○評議員会の開催(3回)
 ○監査会の開催(1回)
 ○職員の専門性向上と資格取得促進
3. 財源の確保
 ・人口減少、世帯数減、自治会加入率の低下等の要因により、会費は減少

貸借対照表

平成30年3月31日
 (単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
○資産の部		○負債の部	
◇流動資産	9,747,281	◇流動負債	6,803,917
◇固定資産	151,221,102	◇固定負債	56,529,440
資産の部合計	160,968,383	負債の部合計	63,333,357
		○純資産の部	
		◇基本金	3,000,000
		◇国庫補助金等特別積立金	0
		◇その他の積立金	91,885,115
		◇次期繰越活動収支差額	2,749,911
		純資産の部合計	97,635,026
		負債及び純資産の部合計	160,968,383

介護の基本を楽しく学び、知識を日常や大切な人に活かしませんか？

介護の入門的研修

9月19日(水)～21日(金)

大田会場:大田市民会館(大田町大田イ128)

認知症になったら
どうなるの？

そろそろ
親の介護に
備えたい

介護保険って
なんだろう？

介護の仕事をして
みたいけど
できるか不安

わたしにも
ボランティア
できるかな



講座修了者には
修了証明書を発行します
(県知事認定)

**無料
講座**

対象者:介護に関心のある方、または介護の仕事をしてみたい方【定員20名】

申込締切:平成30年9月4日(火)

★研修スケジュール★

		日程	主な内容
A 課程	1 日目	基礎講座 (3時間)	9:00～12:00 介護保険制度の概要、介護に関する相談先 介護予防の考え方や知識、介護に用いる福祉機器・用具 13:00～17:00 認知症の症状や特徴、生活上の障がい、認知症ケアの基礎的な技術の知識、進行による変化、支援や関わり方
	2 日目	入門講座 (18時間)	9:00～11:00 障がい別の生活上の障がいや特徴、支援や関わり方、ノーマライゼーションやICFの考え方
B 課程	11:00～17:00 介護職の役割や専門性、老化の理解 介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)		
	3 日目		9:00～15:00 15:00～17:00 介護における安全確保
			※全日程、昼食休憩(60分)の他、適宜休憩時間を設けます。

〈お申込み・お問い合わせ〉

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会石見支所

島根県福祉人材センター石見分室

〒697-0016 島根県浜田市野原町1826-1 いわみーる2階

後援:大田市、社会福祉法人 大田市社会福祉協議会

島根県福祉人材センター

検索

<https://www.shimane-fjc.com/>

TEL 0855-24-9340

平成30年度 保育士就職支援セミナー

参加者
募集中!



島根県福祉人材センターでは保育士の資格をお持ちで、現在は保育士として勤めていない方を対象に、保育現場への復職に役立つ知識や技術を学び直す事が出来るセミナーを開催します。

平成30年10月30日(火)、31日(水)

両日10時00分から15時45分

いきいきプラザ島根

【申込締切】平成30年10月26日(金)

☆2日間受講が基本ですが、1日のみの参加も可能です。

☆託児を希望される場合は、託児室(無料)もしくは一時預かり保育の費用を全額助成します。

申込み・
問合せ先

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会(島根県福祉人材センター)

TEL 0852-32-5957 <https://www.shimane-fjc.com/> ※お問い合わせは平日の8時30分～17時

シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

募集

クラブ紹介

温泉津 湯里 寿光会

地域とともに

事務局 戸島 博

約60世帯しかない湯港で、寿光会は地域の皆様といろいろな活動を行っています。健康教室、防犯教室、落語会、トランプ大会、バタンク大会、歌って元気に会などに取り組んでいます。

子どもは3人(小学性以下)しかいませんが、子どもから大人まで地域の皆が元気で楽しく過ごせるようにと願って頑張っています。

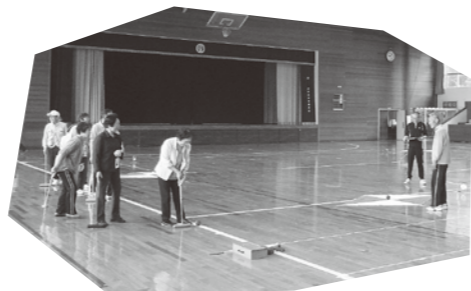
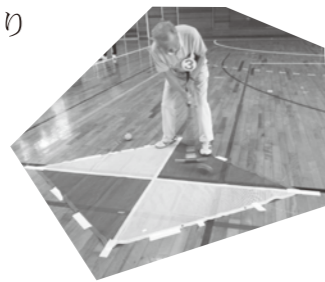
会の運営には、60代の若者?が積極的に協力してくれ感謝しています。

第4回 ダイヤゾーン・ボール大会

5月31日、温泉津総合体育館において、第4回ダイヤゾーン・ボール大会を開催しました。当日は43名の参加があり8チームで競技開始。ホールインワン賞5本も出るなど、元気で賑やかな大会となりました。

結果は次の通りです。

- 優勝 静間A
- 準優勝 静間B
- 3位 大屋寿会
- ホールインワン賞 5本



第13回 ペタンク大会

第13回ペタンク大会を6月7日、仁摩健康公園で開催しました。当日は24名の参加があり8チームで競技開始。

結果は次の通りです。

- 優勝 仁摩D
- 準優勝 仁摩A
- 3位 久利A



第13回 グラウンドゴルフ大会

第13回グラウンドゴルフ大会を7月9日、大田運動公園で開催しました。

当日は猛暑で、熱中症が懸念されましたが、皆さん心得ておられて、対策はバッチリでした。熱戦が展開され、ホールインワンも22本とたくさん出ました。

結果は次の通りです。

【団体の部】

- 優勝 朝山 朝寿会
- 準優勝 温泉津寿クラブ
- 3位 川合 福吉会
- 4位 久利 寿会
- 5位 大田ことぶき会A

【個人の部】

- 優勝 安田幸夫(大田ことぶき会)
- 準優勝 岡田 惇(大田ことぶき会)
- 3位 石飛 姦美(朝山 朝寿会)
- 4位 丸 淳助(川合 福吉会)
- 5位 森長 重雄(水上 銀笑会)

ホールインワン 22本



今年は県老連主催の、島根県大会が初めて開催されます。

日時 11月15日(木) **場所** 出雲ドーム

この大会の団体の部での上位5チームが大田市シニアクラブ連合会の代表として参加します。

優勝目指して、がんばって下さい!!

スポーツ大会

温泉津ブロック健康スポーツ大会

6月22日、温泉津総合体育館において開催しました。

参加者82名の11種目で競技しました。笑いあり、うまさにビックリありで楽しい1日を過ごしました。

又、来年の大会に元気で参加しましょう。



行事予定

ゲートボール大会

9月6日(木) 大田二中ゲートボール場

大田ブロック健康スポーツ大会

10月15日(月) 大田総合体育館

大田市シニアクラブ連合会活動推進研修会

9月20日(木) 大田市民センター 4F集会室

温泉津ブロック福祉大会

10月19日(金) 温泉津まちづくりセンター

ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます

(平成30年6月～平成30年7月受付分順不同・敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

○香典返し寄付

大田 水本 寛治 中島 敏晴

宇谷 道弘 宮原 立子

伊藤多久哉

常見寺 大草 顕信

川合 伊藤 静稔 尾村 長憲

伊藤 肇

池田 楫 清美

富山 月輪 敏二

久手 和田 直毅

鳥井 中島 和好 岡田 真哉

静間 荊尾 一英 荊尾 正吾

五十猛 永井 茂人

大屋 柿田 義信

久利 高平 利典 石田 克己

水上市 竹中 智則

祖式 蓑代 敬治

温泉津 原田 博昭 森口 孝二

仁摩 大築 智幸 石井 景明

紙田 智幸 石井 景明

中尾 範彦 朝男

山根 博佳 武下 稔

東京都 稲吉 功

埼玉県 内田 幸夫

○食品・学生服等の寄贈

株式会社ミック大田支店

他多数の方々に

ご協力いただきました。

以上、643,000円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブ、ペットボトルのキャップも多数いただきました。

平成30年7月豪雨災害

義援金へのご協力

ありがとうございました

平成30年7月受付分(順不同)

寄付者一覧

※ご承諾をいただきました方のご芳名等を掲載させていただきます。

川合地区社会福祉協議会

川合球友会リバーズ

本会にお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送られます。

心のたより発行事業

この事業は、大田市民生児童委員協議会との共催で、大田市内にお住まいの75歳以上のひとり暮らしの高齢者の方、ご夫婦とも80歳以上の高齢者

夫婦のみの世帯に、暑中見舞いをお届けすることで、声かけ・見守り等の安否確認を行うことを目的に実施しています。

宛名書きは、担当地域の民生児童委員さんにご協力いただきました。ハガキを受け取られた方からは、さっそくお礼の電話やハガキをいただいております。



編集後記

7月は上旬に台風7号と前線に伴う西日本豪雨、そして下旬には台風12号が日本を東から西に進む今までに経験したことのない経路で進み、被災された皆様にはお見舞い申し上げます。今年の夏は地球温暖化の影響

か、例年より早く梅雨が明け、連日30度以上の暑さが続き、熱中症対策に気を付ける日々が続きましたが、このたよりが発行されるころには幾分か暑さが

和らぐことを期待しています。お盆も過ぎ、子ども達にとって楽しい夏休みはもうすぐ終わり。残っている宿題を親子で一緒に奮闘されているご家庭もあるのでは？来年こそは計画的に・・・

もうすぐ9月。鈴虫、コオロギの鳴き声も聞こえ、朝夕もしのぎやすくなると思いますが、季節の変わり目でするので、体調に気をつけてお過ごしください。(あ)